

令和6年度 第2回認知症初期集中支援チーム検討委員会議事録

- 1 開催日 令和7年2月17日（月） 午後2時45分～3時10分
- 2 開催場所 市役所大島分庁舎大会議室
- 3 出席者
〈委員〉 野澤委員、矢野委員、深原委員、稲田委員、永野委員、荻浦委員、森委員、阿部委員、紺谷委員、松浦委員、新谷委員
〈ワーキング部会長〉
野村部会長（在宅支援ワーキング部会）
松岡部会長（情報共有ワーキング部会）
〈事務局〉 福祉保健部 杉本部長、山口次長、小見政策調整監
介護保険課 菓子課長 保険年金課 藤井課長
射水市民病院 柏嶋看護部長
地域福祉課 村中課長、長谷川班長、種村課長補佐、田中主査、島倉主査、寶田主任、黒田主事、細橋社会福祉士
- 4 欠席者 宮城委員

5 議題（事務局説明項目）

- （1）令和6年度認知症対応の状況（資料1）
- （2）令和6年度拡充事業の経過報告（資料2）
- （3）「射水市認知症施策推進計画」の策定について（資料3）

6 質疑応答内容

委員： これまで医療にかかっておらず、周囲の人が異変に気付くケースや、認知症の本人の家族が対応に困っているケースなど、主に地域包括支援センターからの紹介で診療所を受診される。年齢相応の物忘れに過敏に反応する人、MCI（軽度認知障害）の人、認知症の人、様々である。MCIの人には、来年も認知機能検診を受けるように声かけをしている。

また、75歳以上の運転免許更新時には認知機能検査があり、検査で「認知症のおそれがある」と判定された人が診断書を求めて来院する。認知機能検査では即時記憶の検査を行うが、改めて長谷川式認知症スケールを行うと20～25点の人もいれば、17、8点（認知症の疑いあり）だが総合的にみればMCI状態といった人もいる。重要なのはMCI状態を維持するためのフォローである。規則正しい生活を送ることや社会的な関わりが認知症の予防につながるので、検査に来た人に関わり続けることが大切である。

認知症の人はその家族も困っていることが多く、医師として向精神薬

を処方することもあるが、認知症対応型デイサービスをうまく活用するなどして薬に頼らずに支援できると良い。また、介護認定を受けていない場合は「なごもっと」などを活用するなど、本人や家族が困ったときに頼れる場所を紹介することで、孤立を防ぐことができるだろう。

重症の場合は認知症専門医を紹介するケースもあるが、多くの人は、声かけをすれば地域の中で日常生活を送ることができる。ノーマライゼーションという言葉があるが、健常者も障がい者も共に生きる社会こそが普通の社会であり、認知症の人がいることも決して特別なことではない。そういった新しい認知症観が広まると良い。

令和 6 年度 第2回射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会 次第

日時 令和7年2月17日(月)

午後2時30分～3時

会場 射水市役所大島分庁舎

3 階大会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 令和6年度認知症対応の状況

資料1

(2) 令和6年度 拡充事業の経過報告

資料2

(3) 「射水市認知症施策推進計画」の策定について

資料3

3 閉 会

(参考資料) 射水市どこシルプラス事業チラシ

Ⅰ 認知症に関する相談対応の状況

(1) 認知症に関する住民相談

	R4年度		R5年度		R6年度(12月末)	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
新湊西包括	46	510	55	666	53	546
新湊東包括	66	467	58	506	39	422
小杉・下包括	82	492	85	356	66	321
小杉南包括	32	412	62	467	48	302
大門包括	92	407	92	457	63	266
大島包括					53	509
計	318	2,288	352	2,452	322	2,366



住民相談の内容により、困難な事例は包括支援センターと市地域福祉課で支援方針を検討

(2) 困難事例等の検討

	R4年度		R5年度		R6年度(12月末)	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
対応件数	45	55	40	46	49	63



医療や介護につながらない方や中断している方、認知症の行動心理症状(BPSD)が顕著で対応に苦慮している方等は認知症初期集中支援チームでの対応を検討

(3) 認知症初期集中支援チーム対応状況

	R4年度	R5年度	R6年度(12月末)
対応件数	2	2	2

2 情報共有ツールを使用した多職種連携

(1) 認知症共有ツール・多職種連携票の使用

	R4年度	R5年度	R6年度(12月末)
使用件数	51	72	36

相談機関(地域包括支援センター)より、医療機関へ情報共有ツール(認知症情報共有ツール・多職種連携票等)を使用し、認知症の人が医療機関を受診する際に、生活状況や困り事を相談する。医療機関からは、相談機関へ在宅生活における助言を行う。

(2) 射水市多職種連携支援システム(ICT:情報通信技術)を活用した連携

	R4年度	R5年度	R6年度(12月末)
認知症の人の新規連携者数	10	10	7

射水市多職種連携支援システム(ICT)を活用し、医療機関及び介護保険サービス事業所等が、認知症の人や家族の生活状況や思い、支援状況の書き込みを行う。
緊密な連携により認知症の人や家族の思いに寄り添い、円滑な支援が可能となっている。

3 認知機能検診受診結果及び事後支援状況

(1) 認知機能検診受診結果

(人)

年度	検査内容	検査結果				小計	合計
R4 年度	認知機能テストのみ	異常なし		認知症疑い		23	47
		14		9			
	認知機能テスト・ MCIスクリーニング検査プラス	異常なし	MCIリスク低	MCIリスク中	MCIリスク高	24	
		3	6	5	10		
R5 年度	認知機能テストのみ	異常なし		認知症疑い		23	40
		20		3			
	認知機能テスト・ MCIスクリーニング検査プラス	健常	MCIリスク低	MCIリスク中	MCIリスク高	17	
		3	10	0	4		
R6 年度 (12月 末)	認知機能テストのみ	異常なし		認知症疑い		46	79
		33		13			
	認知機能テスト・ MCIスクリーニング検査プラス	異常なし	MCIリスク低	MCIリスク中	MCIリスク高	33	
		3	15	11	4		

認知機能テストの結果、MCIの疑いがある方へMCIスクリーニング検査（血液検査）を実施。

令和4年度より、MCIスクリーニング検査プラスへ変更。

令和6年度、検診実施医療機関やコミュニティセンターでポスター・チラシを掲示、市から65歳の介護保険者証送付の際に、認知機能検診のチラシを同封。

令和6年度（12月末まで）MCIスクリーニング検査プラス有リスク者のカテゴリー別リスクレベルの内訳 (人)

カテゴリー リスクレベル	栄養群			脂質代謝群			炎症・免疫群			凝固線溶群		
	良好	注意	要注意	良好	注意	要注意	良好	注意	要注意	良好	注意	要注意
健常	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0
MCIリスク低	6	9	0	13	2	0	5	10	0	9	6	0
MCIリスク中	2	9	0	6	5	0	1	7	3	7	4	0
MCIリスク高	0	4	0	0	4	0	1	3	0	2	2	0
合計	10	23	0	21	12	0	10	20	3	21	12	0

(2) 地域包括支援センターによる事後支援

対象 ①認知症疑い ②認知機能テスト・MCIスクリーニング検査受診者

「(1) 認知機能検診受診結果」の内、網掛け部分  が対象。

	R4年度	R5年度	R6年度(12月末)
事後支援件数	33	20	37

内容 訪問・電話・来所により、受診状況の確認、生活上の困り事がないかを聞き取り、生活支援・助言、受診調整、要介護認定等のケアマネジメントを行う。

効果 認知症・MCIが疑われる段階からの専門職による早期介入により、適切な診断、継続的な受診、適切な介護サービスへの結び付けが可能となっている。
また、受診者や家族にとっては相談先が明確となり、円滑に相談をすることができる。

4 認知症初期集中支援チーム員全体会議の開催

	日時	方法・場所	出席者	内容
第1回	令和6年11月25日(月) 19時15分～20時45分	集合・射水 市役所 3階 304会 議室	チーム員 医師、認知 症地域支援 推進員	(1) 射水市認知症初期集中支援チーム・認知機能検診実績について (2) 射水市認知症初期集中支援事業 研修会について (3) 令和6年度認知症関係拡充事業について

令和 6 年度 拡充事業の経過報告

Ⅰ どこシルプラス事業を実施(みまもりあい事業からの移行) 令和6年10月より

(1) 登録者数(令和6年12月末)

・利用登録者数 45 人

・射水市 LINE 公式アカウントからの行方不明通知受取登録者数 385 人

(2) 行方不明時のシステム利用状況

(ア) 読取通知 1名

事案:70 歳代、認知症、要介護 3

雨の中、傘を持たずに立っていた本人に気付いた一般の方から警察へ通報があり、警察官が QR コードに気付き、読み取った。警察で把握している情報を元に家族に連絡を取り、無事帰宅した。

(イ) 市 LINE 公式アカウントによる検索依頼 0件

(3) 事業の周知方法

・令和 6 年 7 月 11 日に、関係機関(居宅ケアマネジャー、地域包括支援センター、射水警察署、射水消防署等)に対し、説明会を実施

・広報いみず、テレビ広報いみず(認知症オレンジちゃんねる)、市 LINE による配信、市ホームページへの掲載、認知症サポーター養成講座、ひとこと声かけ体験会等での周知

2 認知症の人と家族への一体的支援事業「なごもっと」を各包括圏域で実施

(1) 実績

実施日時	会場	圏域・ 担当包括	本人・家族 参加人数(延べ)
R6 年 5 月 28 日(火) 14:00~15:30 R6 年 12 月 3 日(火) 14:00~15:30	ニューモンブラン	小杉・下	10
R6 年 9 月 27 日(金) 10:00~11:15	Caf e しえる	小杉南	4
R6 年 11 月 9 日(土) 10:00~11:45	内川 シャインベース	新湊西	6
R7 年 1 月 28 日(火) 13:30~15:00	ウエルシア射水足洗新町店内 ウエルカフェ	新湊東	5

(2) 予定

実施日時	会場	圏域
R7 年 3 月 11 日(火) 10:00~11:30	Caf e しえる	小杉南
R7 年 3 月 10 日(月)	ウエルシア射水足洗新町店内 ウエルカフェ	新湊東
R7 年 3 月 6 日(木)	大島コミュニティセンター	大島

(3) 事業の周知方法

・市ホームページ、圏域内でのチラシの配布・声かけ等

3 認知症月間(9月)に各圏域毎に普及・啓発活動を実施

(1) 実績 ※令和6年度新たに実施

会場	日程	内容	圏域・担当包括
※アルビスいみずの小杉店	9月2日～ 9月8日	・認知症の展示 (認知症の人が生きている世界、射水市の認知症への取組等) ・アンケート	小杉南
※大門総合会館	9月18日～ 9月24日 ティッシュ配布 20日・21日の2日間 10時～15時	・「認知症の人にやさしいお店」および施設・事業所マップの掲示 ・認知症関連および事業所パンフレットの設置(チェックリストにトライ) ・「やさしいお店」登録店内に、ケアパスの設置。 ・ティッシュ配布(ささえ隊メイト・大門高校生と) ・来場相談者の対応 ティッシュ配布:85個 来場者:19名(相談3名)	大門
※大島コミュニティセンター	9月25日～ 10月4日	・個別相談 ・認知症についての啓発展示 ・オレンジの木にメッセージカードを貼る企画	大島
クロスベイ新湊	9月2日～ 9月17日	・認知症の展示 (認知症の人が生きている世界、射水市の取組等)	新湊西・新湊東合同
新湊図書館	9月19日～ 10月1日	・関連図書の展示 ・認知症の展示 (認知症の人が生きている世界、射水市の取組等)	新湊西・新湊東合同
中央図書館	9月19日～ 10月1日	・関連図書の展示 ・認知症の展示 (認知症の種類・道に迷う人の気持ち・認知症の人が生きている世界、射水市の取組等) ・アンケート ・切り絵展示	小杉・下
イオン高岡 県イベントに参加	9月21日	・個別相談、脳トレ ・認知症の展示	市・包括

(2) 事業の周知方法

- ・広報いみず、テレビ広報いみず(認知症オレンジちゃんねる)、市ホームページ、市 LINE、アランマーレ富山より SNS で配信

「射水市認知症施策推進計画」の策定について

I 認知症施策推進基本計画（概要）

【位置付け】共生社会の実現を推進するための認知症基本法（令和5年法律第65号。以下「基本法」という。）に基づく国の認知症施策の基本計画。これに基づき、地方自治体は推進計画を策定（努力義務）。

前文／I 認知症施策推進基本計画について／II 基本的な方向性

- 基本法に明記された共生社会の実現を目指す。
 - 認知症の本人の声を尊重し、「新しい認知症観」※に基づき施策を推進する。
 ※①誰もが認知症になり得ることを前提に、国民一人一人が自分ごととして理解する。②個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間と共に、希望を持って自分らしく暮らすことができる。
- ⇒ ①「新しい認知症観」に立つ、②自分ごととして考える、③認知症の人等の参画・対話、④多様な主体の連携・協働

III 基本的施策

- 施策は、認知症の人の声を起点とし、認知症の人の視点に立って、認知症の人や家族等と共に推進する。
- ⇒ 以下の12項目を設定：①国民の理解、②バリアフリー、③社会参加、④意思決定支援・権利擁護、⑤保健医療・福祉、⑥相談体制、⑦研究、⑧予防、⑨調査、⑩多様な主体の連携、⑪地方公共団体への支援、⑫国際協力

IV 第1期基本計画中に達成すべき重点目標等

- 次の4つの重点目標に即した評価指標を設定：①「新しい認知症観」の理解、②認知症の人の意思の尊重、③認知症の人・家族等の地域での安心な暮らし、④新たな知見や技術の活用
- 評価指標は、重点目標に即して、プロセス指標、アウトプット指標、アウトカム指標を設定

V 推進体制等

- 地方自治体において、地域の実情や特性に即した取組を創意工夫しながら実施
- 地方自治体の計画策定に際しての柔軟な運用（既存の介護保険事業計画等との一体的な策定など）
- ①行政職員が、認知症カフェ等様々な接点を通じて、認知症の人や家族等と出会い・対話する、②ピアサポート活動や本人ミーティング等の当事者活動を支援する、③認知症の人や家族等の意見を起点として、施策を立案、実施、評価する。

（出典：認知症施策推進基本計画（令和6年12月3日閣議決定）資料より抜粋）

2 計画策定の方針及びスケジュール

（1）方針

「いみず地域共生プラン（第2次射水市地域福祉計画・第3次射水市地域福祉活動計画）」（令和3～12年度）見直しに合わせ、射水市認知症施策推進計画（令和8年度～12年度）を一体的に策定

（2）今後のスケジュール

時 期	内 容
令和7年	2月26日 第1回いみず地域共生プランの中間見直しに係る計画策定委員会
	7月下旬 第2回計画策定委員会
	9月 市議会9月定例会で計画骨子案を説明
	10月 第3回計画策定委員会
	12月 市議会12月定例会で計画素案を説明
	12月下旬 パブリックコメントの実施
令和8年	2月 第4回計画策定委員会
	3月 市議会定例会に計画案を報告 計画策定及び公表

射水市どこシルプラス事業

みまもり事業

～認知症の人に
やさしいまちへ～

射水市では、認知症の人を地域で見守り、行方不明になった高齢者等をより早く発見・保護できるよう、「どこシルプラス事業」を実施しています。

QRコードのシールを利用するWebシステム「どこシル伝言板」に「射水市LINE公式アカウント」での行方不明情報の配信をプラスし、捜索協力の輪を広げ、誰かの大切なご家族を守ります。

【対象者】 射水市に住所があり、認知症により行方不明になる可能性のある在宅の方

【費用】 無料（シール代3,619円は市が負担）

【申請方法】 利用申請書を射水市地域福祉課へ提出してください。



みまもり隊になろう！

射水市LINE公式
アカウントから
【行方不明情報】を
受け取ることで、

誰でも“みまもり隊”になる
ことができます。

設定方法は
裏面へ



どこシル伝言板® とは？



認知症等で行方不明になった際、衣服等に貼ったQRコードが読み取られると、保護者へ瞬時に発見通知メールが届きます。発見者はQRコードを読み取ると、ニックネームや注意すべきことなど対処方法がわかるので安心です。チャット形式の伝言板だからやりとりは簡単。お迎えまで迅速に行えます。

どこシル伝言板® の特徴

読み取ると発見者の
手順を確認できます

準備はこれだけ

1. スマホのメールアドレスを用意する
2. 登録シートの記入
3. ラベルシールの貼付け

耐洗ラベル



蓄光シール



持ち物等に貼る暗闇で光るシール

24時間365日OK

夜間も伝言板を通じてやりとりが可能。登録した方へ瞬時に発見通知メールが届きます。

個人情報の記載不要

氏名・住所・連絡先の記載は不要なので安心です。

声かけをしやすい

ラベル・シールを貼っておくことで、発見者が声をかけるきっかけになります。



耐洗ラベル(アイロン可のもの)



蓄光シール(アイロン不可のもの)



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

《問合せ先》 射水市役所地域福祉課 TEL:0766-51-6625

裏面へ

登録から行方不明→捜索依頼→保護→引渡しまでの流れ

事前準備

①申請・初期登録

ケアマネジャー等に相談しながら登録シートを記入し、利用申請します。
登録シートをもとに市で情報登録後、シールが配布されます。



②ラベルシール貼付け

配布された耐洗ラベルと蓄光シールを衣服・持ち物等に貼り付けます。春夏秋冬物すべての衣服等に貼りましょう。
耐洗ラベルは180℃のアイロンで圧着します。



③行方不明情報登録

WEBシステム「どこシル伝言板」から、行方不明情報を登録



射水市LINE公式アカウントから【行方不明情報】が通知されます（通知の受信設定者のみ）。

「どこシル伝言板」にプラス！

④QRコード読取



⑤読取通知メール受信

発見者がQRコードを読み取るだけで自動的に読取通知のメールが届きます。



事務局も受信

⑥情報の確認・現在地入力

警察や病院が保護した場合のみ、電話番号の記載が可能です。



⑦発見通知メール受信

発見者が発見情報を入力、送信すると自動的に発見通知メールが届きます。

事務局も受信



⑧伝言板でやりとり



⑨お迎え→ご帰宅



「どこシル伝言板」にプラス！

⑩解決済み登録

WEBシステム「どこシル伝言板」から、解決済み登録



射水市LINE公式アカウントから解決済み情報が通知されます。

行方不明↓保護

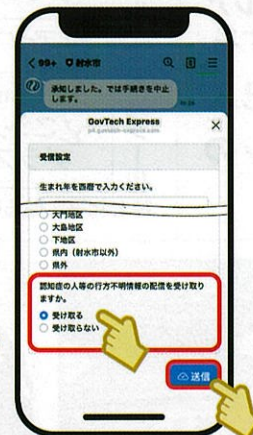
みまもり隊になろう！ スマートフォンの設定方法



① リッチメニューから「受信設定」をクリック



② 受信設定のアンケート起動後「入力フォームを開く」をクリックします



③ 行方不明情報を「受け取る」を選択し「送信」をクリックし完了

下にスクロール

射水市とお友だちになっていない場合は、「友だち追加」してください

